

だれもが 住み慣れた地域で 共に支えあい、いきいきと暮らせるまちづくり

～安八町民生委員児童委員協議会～

安八町は岐阜県の南西に位置し、揖斐川・長良川に挟まれ南北約9キロメートル、東西約3キロメートルにわたる細長い地域です。地盤は流出土により形成された沖積層からなり、県下でも有数の肥沃な農耕地を形成しています。

令和5年4月1日現在の人口は14,472人です。高齢化率は28.8%と高齢化が進んでいます。

平成30年3月24日に名神高速道路に「安八スマートインターチェンジ」が開通し、観光客も増え、新たな企業も進出し、活性化が進んでいます。工場適地として、近代産業発展の原動力を担っています。

また、町内の様々な場所に安八町出身のストリートアーティスト「ロームカウチ」さんより寄贈された作品が



水防倉庫の壁面に描かれたロームカウチ氏の作品

り、全国から多くの人が訪れるなど、SNS映えするフォトスポットとして人気を集めています。

民生委員・児童委員の取り組み

安八町民生委員児童委員協議会は、民生委員25名、主任児童委員2名で活動しています。毎月定例会を開催し、各委員からの活動報告や意見交換会などを行っています。また、毎月「心配ごと・児童相談」や「しあわせ相談サロン」を開催し、高齢者だけでなく、町民が抱える様々な不安や悩みに対応し、専門機関や専門職につないでいきます。委員のスキルアップとして、町内外の福祉施設の見学や研修も行っています。

その他にも、各小中学校区で「民生児童委員さん・人権擁護委員さん」と語る会」を実施し、授業参観や懇談を通して、子供たちの普段の学校生活を知ることができています。

新しく民生委員となった方から、「地域には高齢者だけでなく、子供たちの中にも支援や見守りが必要な子が多くいることを知り、とても驚いた。これからは地域の子供たちのことも見

守っていききたい。」との意見がありました。

今年度から、自治会長をはじめ社協福祉施設の方等と共に、見守りを必要としている方の支援の在り方を話し合う「つながり懇談会」へ参加し、民生委員・児童委員として何ができるのかを考え、地域の課題への取り組みを進めています。



「つながり懇談会」の様子

DXを活用した新たな活動

令和2年より「あんぱちナビ」という町のイベントや災害情報をスマートフォンに配信しています。

令和5年度からは、民生委員としてテレビ電話機能がついたタブレットを活用し、コロナ禍のような簡単に訪問できない状況になっても、一人暮らしの高齢者の様子を確認することができるよう「見守りサービス」をスタートしました。この取り組みはまだスタートしたばかりで課題もありますが、少しで

も安心して暮らしてもらえるようになっていければと思います。



「あんぱちナビ」見守りサービス

新型「コロナ」に負けない新しい活動

長く続いた新型「コロナ」も令和5年5月に5類へと移行したことにより、活動は徐々に再開してきていますが、感染者は依然として多い状態です。高齢者と向き合う私たちの活動は、気を使うことが多くありますが、コロナを理由に活動の幅を狭くしてしまうことはしたくありません。

コロナがあったからこそ新しい活動ができるのだとプラスにとらえ、これからも、みんなが「おたがいさま」という気持ちを持ち、誰もが「安心していきいきと暮らせるまち」を目指し、活動をしていききたいと思えます。

